

科目名 終末期看護援助論 時間割表記名 終末期看護援助論		配当時期 2年次後期 単位数 1単位 時間数 30時間(16回)	講義担当者 中村律子 藤島愛華 松本恵里子 間宮みどり (実務経験のある教員)
事前学習内容 事例で用いる疾患の病態・治療については復習して臨む。			
授業目標 1. 終末期にある対象および家族の身体的・精神的・社会的特徴を理解できる。 2. 終末期にある対象の病態や治療とその看護について理解できる。 3. 事例を通して、終末期にある対象および家族の看護過程の展開を学ぶ。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 終末期における看護 1) 終末期の特徴 2) 患者・家族の全人的苦痛(トータルペイン)の理解 3) 緩和ケアの理解 4) アドバンスケアプランニング(APC) 2. 終末期の患者のニーズ(身体的・精神的・社会的・霊的ニーズ) 1) キューブラ・ロス 死の受容過程	講義	テキスト①
2	3. がん患者の対象とその特徴 1) ライフステージによるがん患者の特徴 2) がんサバイバーシップケア (1) AYA 世代のがん患者ケア	講義	テキスト①
3	4. 全人的ケアの実践 1) 身体的苦痛のマネジメント (痛み・呼吸困難・消化器症状・がん悪液質・全身倦怠感)		
4	5. 日常生活を支える援助(食事・排泄・睡眠・清潔) 6. 高齢者の終末期ケア 1) 高齢者の終末期における身体的変化とアセスメント 2) 高齢者に対する緩和ケアの必要性 3) 「生ききる」ことを支えるケア 4) 高齢者の尊厳を守るための支援	講義	テキスト①③
5	7. がん患者の薬物療法と看護	講義	テキスト②

6	8. がん患者の放射線療法と看護	講義	テキスト②
7	【事例展開】肝硬変患者の看護(成人期) 1. 情報の収集と整理 2. 事例のアセスメント(全人的苦痛・QOL・取り巻く人々の状況) 3. 看護問題の明確化 4. 援助計画の立案(腹腔穿刺当日の看護援助)	講義 メンタルシミュレーション	テキスト①②④ * 13 回目 45 分
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14	臨死期のケア、家族ケア、グリーフケア	講義	テキスト③
15	エンゼルケア		
16	試験(45分間)	試験(筆記)	
受講上の注意 事例展開では事前学習を元に個人ワークとグループワークを行う。 事例展開の評価はレポート評価とし、個人での作成物を評価対象とする。			評価方法 筆記試験 レポート
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門分野 基礎看護学 臨床看護総論 医学書院 ②系統看護学講座 別巻 がん看護学 医学書院 ③系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院 ④系統看護学講座 専門分野 成人看護学5 消化器 医学書院			